

個別技能確認訓練を実施しました

個別技能って??

火災現場活動を行う消防隊員・救助隊員個人が保持すべき活動技能のことを個別技能と呼んでいます。消防資器材に対する知識を深めるとともに、活動技能の習得、維持向上を目的として訓練を行います。

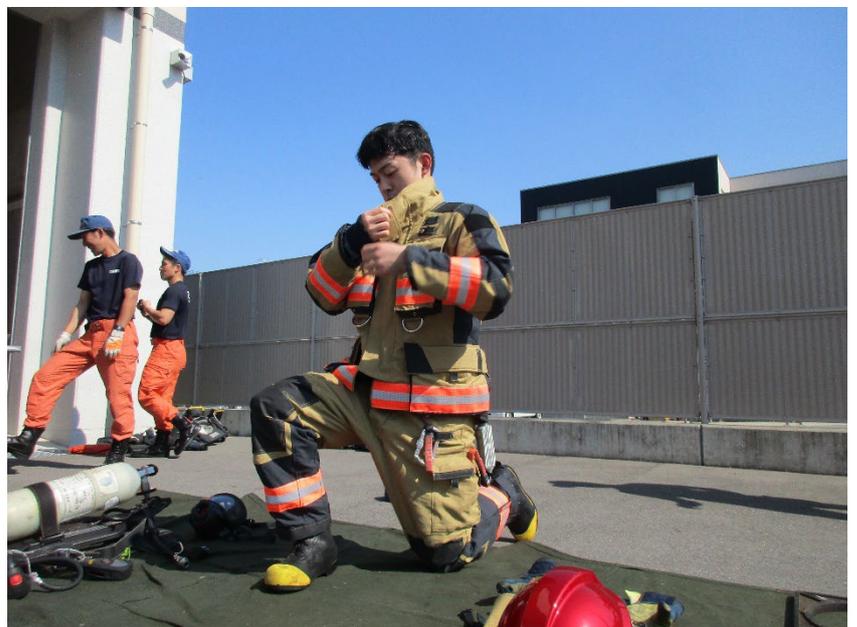
内容は、防火衣の着装、空気呼吸器の着装、基本ロープ結索、ホース延長、面体の着装、筒先の取り扱いなど基本的な事項が盛り込まれています。



防火衣を着装！

素早く防火衣を着ることができなければそれだけ出場が遅くなってしまいます

隙間を作らないように正しく着装しなければ熱気を防ぐことができません





空気呼吸器の残圧を確認！

活動内容によりませんが、ポンベ
の空気でおおむね15分以上
は活動可能です

もやい結び、プルージック結
び、巻き結び、ふた回りふた結
びの4種結索。いずれも現場で
使用頻度の高い結索です



ホース延長！

隊員の横にあるのはホースバ
ッグといい、短い距離を素早く
延長できるよう、ホース2本
(2×20m)をあらかじめ詰
めたものです





筒先を結合してホースの準備が整えば面体を着装します。

面体とは、空気ボンベの中の空気を吸うための資器材で、顔に密着させるように着装します

放水開始！



目標タイムは3分20秒以内です。

向日消防署ではこうした訓練を通じて隊員個人のスキルを高め、小隊単位での応用的な訓練をスムーズに実施できるよう、日々訓練に取り組んでいます。